



# 何でも魚<sup>うお</sup>ツチング

## No.69 『がんばってます～番外編～』



始めまして、水産

試験場の野口大悟と申します。4月1日付けで採用となり、3年ぶりに山形に戻って参りました。充実した学生時代を過ぎて参りました。多くの迷惑をお掛けしますが、どうぞよろしくお願いします。

私は、関東地方の内陸部で生まれ育ち、川釣りと、魚の飼育に明け暮れた子供時代でした。大学では村山地方のイワナの分布などを勉強し、卒業後はドジョウの養殖に携わるなど、これまでは主に淡水魚と付き合ってきました。今回赴任した海の試験場では初めてのことばかりですが、毎日勉強しながら興味深く仕事をさせてもらっています。その中でも、サクラマスの市場調査の際、カレイ類の種類の豊富さを再認識し、また、それらを手際よく仕分けしている様子に驚いてしまいました。

一般的に「カレイ類」と呼んでいる魚は、カレイ目カレイ科に属し、基本的に体の右側面に眼が偏っています。世界中で約100種、国内には約40種が棲息しています。ここでは、私が目下勉強中である庄内で水揚げされるカレイ類について紹介します。

庄内でカレイと言えばマガレイ(口細)ではないでしょうか。地方名の「まがれ」とはヒラメを指します。マガレイと姿がよく似たものにマコガレイ(ねさし、えんしょう)があります。両者は主にゴカイ類などの底棲動物を食べ、産卵域が似ていることからラ

イバル関係にあります。マガレイは150m以浅に、マコガレイは100m以浅に棲息することで棲み分けをしています。眼の位置が特徴的なカレイがいます。又マガレイ(たかのは)の眼は体の右側面ではなく左側面に偏っています。この状態を「逆位」といいます。外国の又マガレイでは逆位の個体と通常の個体が混じっている場合がありますが、日本の個体はほぼ全てが逆位になっています。

ソウハチガレイ(宗八、がんばち)は上側の眼が背中線上(頭部の背中部)にあるため、無眼側から見ても眼の一部が見えます。

この他に庄内では、虫食い模様のムシガレイ(大羽)、体型が柳の葉に似たヤナギムシガレイ(やなぎ)、体表面がぬるぬるしたババガレイ(母、あわふく、なつと)、体高の大きいメイタガレイ(めた)、無眼側が赤っぽいアカガレイ、ヒレが黒いヒレグロ、有眼側に石のような突起があるイシガレイ、脂肪分が多いウロコメガレイ(草がれ、油がれ)、特に浅いところに棲息しているわけではないのに(?)アサバガレイといった種類が水揚げされています。合計で13種類前後のカレイ類が見られます。

種類ごとに旬の時期は少しずつ異なっています。庄内暮らし1年目、いろいろなカレイを楽しみながら頑張りたいと思います。

水産試験場 浅海増殖部研究員 野口 大悟

### 「海のお掃除」応援します

海面や海底など、海の中にある所有者不明のゴミ。操業中にみなさんの網に引っ掛かったことはありませんか。

「海と渚環境美化推進協会」では青い海・美しい渚を守るためにボランティアで浜の清掃活動や啓発活動をする団体に、軍手・ゴミ袋の購入や回収したゴミの処分に必要な費用などを助成しています。漂流しているゴミや、操業中に網に引っ掛かるゴミの処分費も助成対象となります。

是非この制度を活用してみませんか。浜をもっともっときれいにしましょう。助成額の上限や手続きについては協会事務局までお問い合わせください。海と渚環境美化推進協会事務局(庄内総合支庁水産課内) 電話0234-124-6046

### 女性部による広報活動



小波渡の清掃活動

● JFマリンバンクではじめよう！